



考えて

やってみて

次の意欲へ

創造・挑戦・感動

篠山東中
学校だより
7月号 No.5

1年生“校外学習”大成功！

～「わくわくオーケストラ教室」参加、「人と防災未来センター」見学～

先月の6月7日（金）に、1年生が入学以来初の“校外学習”に出かけました。

午前中は、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」（阪神淡路大震災以降、毎年実施）に参加し、兵庫県立芸術文化センターで、プロの管弦楽団による生演奏を鑑賞しました。

また、午後からは「人と防災未来センター」を訪問し、阪神淡路大震災当時の様子について、映像や講話、体験プログラムを通して学習を行いました。

『決まりを守って楽しもう!』のスローガンのもと、学級風紀委員が中心となり、個として、集団として、大きく成長できた実り多き一日となりました。



【校外学習 活動の様子】

2年生“トライやる・ウィーク”頑張りました！

先月の6月3日（月）から5日間、2年生36名が、地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」に挑戦しました。この地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」は、県内中学2年生を対象とした職場体験活動のことで、生徒たちの学びの場を地域に移し、自分と社会をつなぐ、とても貴重な体験の場となっています。

職場体験を通して、生徒たちが働くことの意義や社会人として必要な資質を学ぶとともに、郷土「丹波篠山」を愛する心や地域の方への感謝の心を育てることを切に願っています。

来る7月17日（水）の5・6校時には、本校ふれあい広場において、「トライやる・ウィーク報告会」を実施し、生徒たちの意見交流を通してさらに学びを深めます。保護者、地域の皆様には、お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

後になりましたが、生徒たちを快く受け入れてくださった事業所の皆様、励ましの声をかけてくださった地域の皆様、事業運営にご協力いただいた推進委員及び保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



【トライやる 活動の様子】

3年生対象“市内3高等学校の説明会”がありました！

先月の6月3日（月）に、教育委員会が主催する市内3高等学校の説明会がありました。

皆さんもご存知の通り、丹波篠山市には伝統ある3つの県立高校があり、それぞれが地域に根差した特色ある教育を展開されています。

当日は篠山東雲高等学校、篠山鳳鳴高等学校、篠山産業高等学校の順に学校紹介が行われ、生徒たちは、皆真剣に説明を聞いていました。



【篠山東雲高等学校】



【篠山鳳鳴高等学校】



【篠山産業高等学校】

ぜひ、夏季休業期間中から2学期にかけて行われるオープン・ハイスクールにも積極的に参加し、自分の目で高校の実際を確かめてきてほしいと思います。自らの進路を切り拓くには、勇気を出して一步を踏み出すことが必要です。どんな些細なことからもいい。まずは自分から行動に移しましょう。後になりましたが、貴重な機会を設定いただきました教育委員会並びに高校関係者の皆様に、心より感謝いたします。

安全安心な学校生活のために① ～熱中症対策にご協力を！～

梅雨に入り、ジメジメとした蒸し暑い日が続いています。湿度も高く、気温が30℃を超える日もあり、屋外での活動には十分な注意が必要です。

本校では、熱中症予防について、養護教諭が全校生徒に講話を行い、注意喚起を促すとともに、**暑さ指数(WBGT)**を測定し、状況によっては教育活動を制限したり、中止したりする予定です。

先日の保護者宛文書でもお伝えしましたが、今の梅雨の時期から夏季休業期間中にかけては、これまで以上に気温が高くなることが予想されます。体調管理・熱中症予防のためにも、お子様には十分な量の水分(スポーツ飲料も可)を持たせてください。ご協力をよろしくお願い致します。

なお、現在学校の水道水は飲料水として使用することが難しい状況です。そのため、生徒には、万一持参している水分がなくなった場合は、速やかに職員に申し出るよう伝えてあります。その点におきましても、重ねてご指導いただくと幸いです。

※マスクの着用について

現在、マスクの着用については、生徒個人の判断に委ねていますが、熱中症予防の観点から、体育の授業や部活動などの際には外すことを推奨しています。



【養護教諭による熱中症予防講話】



暑さ指数(WBGT)を測定する装置

安全安心な学校生活のために②

～救急法(心肺蘇生法)の実技講習会を行いました！～

先月の6月17日(月)の放課後、学校事故や水難事故、熱中症等緊急時の対応を想定し、職員を対象に救急法(心肺蘇生法)の実技講習会を行いました。

丹波篠山市消防本部から消防隊員の方に来ていただき、実際に事故に遭遇された経験を踏まえながら、詳しく丁寧にご指導いただきました。職員からの質問にも的確に答えていただき、とても有意義な講習会になりました。いざという時のために、職員も研修に取り組んでいます。



【心臓マッサージを行う職員】